



富士の国やまなし国文祭記念事業

県立美術館

甲府市貢川1-4-27
TEL 055-228-3322
FAX 055-228-3324



ミレーコレクションのすべて

県立美術館が収集したミレー作品約70点を全て公開する貴重な機会です。普段の展示では見えてこないミレー作品の世界をぜひ、お楽しみください。



《鶏に餌をやる女》1853-56年頃
73.0×53.5 cm 油彩・板



ジャン＝フランソワ・ミレー



《母親の心遣い》1862年
28.5×22.5 cm ガラス版画

お薦めは平成24年1月にミレーコレクションに加わった「古い塀」。ミレーが定住したバルビゾン村とフォンテーヌブローの森を区切る古い塀の崩れた切れ目から顔をのぞかせる野生の鹿を描いた風景画。塀の奥に鬱蒼(うっそう)とした森が広がり、手前にはタンポポやカエルも繊細なタッチで描かれている。ミレーの関心が自然に向けられ始めたことが端的に表れた作品で、これ以降の晩年期は風景画が多い。



《古い塀》1862年頃 50.8×61.6 cm 油彩・麻布

- 開催期間 1月2日(水)～3月3日(日)
 - 観覧料 一般500円/高校・大学生210円/小・中学生100円
- ※各種割引などあり。詳しくはお問い合わせください。

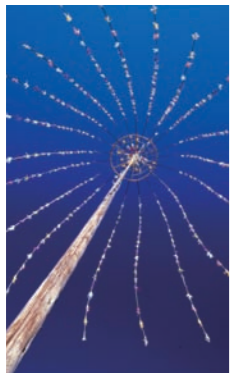
県立博物館

笛吹市御坂町成田1501-1
TEL 055-261-2631 FAX 055-261-2632

どうそじん ワンダーワールドAGAIN ～やまなしの道祖神祭り～



小正月を中心に、県内各地で盛んに行われる道祖神祭りは、山梨に数ある祭りの中でも圧倒的な華やかさと人々を惹きつける力を持っています。さまざまな飾りや、貴重な資料から道祖神信仰の歴史と祭りの多様性を探ります。



身延町三沢大草のオヤマカザリ



初代歌川広重筆 甲府道祖神祭幕絵
「東都名所 目黒不動之瀧」(部分)

- 開催期間 1月2日(水)～1月28日(月)
 - 観覧料 一般500円/高校・大学生210円/小・中学生100円
- ※各種割引などあり。詳しくはお問い合わせください。

県立文学館

甲府市貢川1-5-35
TEL 055-235-8080
FAX 055-226-9032



文学館至宝展

よみがえる文豪の素顔

収蔵している芥川龍之介、井伏鱒二、太宰治などの原稿・書簡・書画・愛用品の中から選りすぐりの資料を一堂に展示します。



芥川龍之介・久米正雄 野口真造宛はがき 1916(大正5)年(推定)8月30日消印

- 開催期間 1月14日(月・祝)～3月17日(日)
 - 観覧料 一般310円/高校・大学生210円/小・中学生100円
- ※各種割引などあり。詳しくはお問い合わせください。

森林総合研究所

南巨摩郡富士川町最勝寺2290-1
TEL 0556-22-8111 FAX 0556-22-8074

森の教室 ～やまなしの木で工作をしよう！～

森の教室では、電動糸ノコを使って、県産材(ヒノキ)の板から動物や花・昆虫・恐竜などを切り抜き、電気ゴテで模様や文字を焼き付ける工作ができます。初心者から上級者まで、レベルに応じたメニューを用意していますよ。お気軽にお越しください。



1 まず、先生の説明を聞くよ！



4 切り抜いたらサンドペーパーなどでキレイに整えるよ



5 最後に電気ゴテで名前や模様を書く！



2 切り抜く型を当てて鉛筆でなぞる



3 いよいよ電動糸ノコで切り抜く！手を切らないようにしなくちゃ！



6 できた！

県立科学館

甲府市愛宕町358-1
TEL 055-254-8151 FAX 055-240-0168



©円谷プロ

みんなの憧れウルトラヒーローを通して、科学の面白さに触れよう！
特撮の秘密が分かる展示や飛んでいる写真が撮れるコーナーなど体験アイテムも充実。対決シーンのジオラマは迫力満点！

スペシャルイベント ウルトラヒーローがやってくる!!

- ▶1月 6日(日) ウルトラセブン
 - ▶1月13日(日) ウルトラマンゼロ
- いずれも11時、13時、15時の3回。

- 開催期間 1月4日(金)～1月14日(月・祝)
- 観覧料 入館料だけでご覧になれます。

- 休館日 月曜日(月曜日が祝日の場合は翌日) 年末年始(12月29日～1月3日)
 - 材料費 50円(10cm四方の板)～200円(30cm×17cmの板)
※中～上級者向けの大きな板は費用が高くなります。
- ※小学3年生以下は保護者が必ず付き添ってください。
5人以上のグループは事前予約してください。

県立考古博物館

甲府市下曾根町923
TEL 055-266-3881 FAX 055-266-3882

甲州市内の出土品Ⅱ ～ワインの町の縄文時代～

ブドウ畑が広がり、ワインの町として名高い甲州市から発見された出土品を紹介。縄文時代、酒造りに使われたともいわれている有孔罎付(ゆうこうつばつき)土器も展示。ワインのルーツは5,000年昔の縄文時代に遡るのかも？



安道寺(あんどうじ)遺跡から出土した有孔罎付土器

- 開催期間 ～1月27日(日)
- 観覧料 無料